

事務事業名		市営住宅管理システム運営事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	建築住宅課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	建築住宅係	担当課長名	金子悦雄	
	施策	3 快適で質の高い住環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 快適で安全な住まいづくりの推進と市営住宅の適正な管理・運営					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	11963	一般	8	5	1	市営住宅管理システム運営事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	24年度～29年度		根拠法令等	佐野市営住宅条例、佐野市特定公共賃貸住宅条例、佐野市再開発住宅条例					
	実施方法				事業分類		直営				
	リーディングプロジェクト				市長マニフェスト		該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
・市営住宅管理システムについて、サーバー等を入れ替えたものを、適正に運営する。			・市営住宅管理システムの適正な運用を行った。 ・本システムを活用し、市営住宅の入居決定や家賃決定などの業務を実施した。							
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
サーバーの数			台	1	1	1	1	1		
クライアントの数			台	3	3	3	3	3		
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
住宅管理システムを搭載している、田沼庁舎本館2階に設置されているサーバー及び各庁舎の端末機器等			対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
サーバーの数					台	1	1	1	1	1
クライアントの数					台	3	3	3	3	3
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
目的			成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
・平成24年度より更新された、住宅管理システムを適切に管理し、機器やソフトが事務でトラブルなく運用されるようにする。			運用しているサーバーの数		台	1	1	1	1	1
			運用しているクライアントの数		台	3	3	3	3	3
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
市営住宅の適正な管理・運営が行われている。			上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
市営住宅(耐火)の耐震化率					%	-	84.2	89.5	94.7	100.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	2,460	2,095	2,428	2,428	2,428			
	事業費計(A)	千円	2,460	2,095	2,428	2,428	2,428			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			消耗品費	88	消耗品費	0	消耗品費	155	消耗品費	155
			通信運搬費	68	通信運搬費	122	通信運搬費	300	通信運搬費	300
保守委託費			762	保守委託費	431	保守委託費	431	保守委託費	431	
機械等借上料			1,542	機械等借上料	1,542	機械等借上料	1,542	機械等借上料	1,542	
人件費	人	4	2	2	2	2				
のべ業務時間	時間	500	300	300	300	300				
人件費計(B)	千円	1,946	1,182	1,182	1,182	1,182				
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,406	3,277	3,610	3,610	3,610				

事務事業名	市営住宅管理システム運営事業	担当部	都市建設部	担当課	建築住宅課	担当係	建築住宅係
-------	----------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	合併時に購入した市営住宅管理システムを運用しているサーバーやパソコンが耐用年数を超えて使用しているため、システムの安定性に不安があり、機器の入れ替えを迫られていたものを平成24年に更新した
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	システムのベースとなっているプログラムについても年々更新されており、マイクロソフトのオフィスについても対応期限を超える状態となっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特にはありません。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	市営住宅の適正な管理を行うためには、入居者管理を行うシステムの安定した運用が必要である。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市営住宅の家賃決定、入居者決定などは、市が行うと法律で決められている事務であり、その管理のために市がシステムを運用する必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	運用において、ハードは欠かすことができないものである。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	市営住宅管理において、確立されたシステムであるため、カスタマイズなどを行うことは難しい。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	平成25年3月よりの長期継続契約によるため、契約金額の変更はできない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	市営住宅の入居者は応能応益家賃として、法律の定める家賃を支払っている。入居管理や家賃の賦課・収納の管理をするもので、新たに受益者負担を求めることはできない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
平成25年度にシステムが導入され、平成26年度からは、「システム運営事業」と名称が変更となる。システムについては、市営住宅が廃止されるなど、管理がなくなった場合、事業終了となる。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			